

来院者は大切な家族同然 あらゆる手段で痛みを和らげる

秋川 院長が今の業界に入られたきっかけは何でしたか。

市之瀬 今から約10年前、25歳のときに腰痛を患っていたのですが、ある先生との出会いにより症状が回復しました。とても感激し、いつかその先生のような柔道整復師になりたいと思って会社を辞め、整体と骨接ぎの技術を学び始めました。その後、無事に資格を取得し経験を重ね、2008年「いちの整骨院」の開業に至ります。

秋川 代替医療を行う治療院が増えるなかで、多くの患者さんが訪れる秘訣とは？

市之瀬 患者様のお話をよくお伺いしながら治療を行っている点でしょうか。亜急性の捻挫から発生する肩・腰・膝の痛みや打撲、肉離れといった症状に合わせ、手技療法を中心に冷温罨法、電気療法、テーピングなどを用い、幅広く対応。交通事故の治療は自己負担金なしで行うことができます。保険会社との交渉や書類作成などは無料で行いますのでご安心ください。スタッフ全員が高い技術を身につけているのも強みですね。

施術の際に意識しているのは、患者様の目線で家族のように親身に接することです。来院時からリラックスして頂けるよう、院内は清潔で安心感のある内装に統一しました。もちろん、インフォームドコンセントも徹底します。

秋川 色々な意味で、来院者に安心感を

いちの整骨院・整体院

〒173-0005
東京都板橋区仲宿 48-18
田川マンション 101
TEL / FAX 03-5875-3116
<http://www.itino-group.com>

Company data

院長

市之瀬 法彦

神奈川県川崎市出身。大学卒業後は一般企業に就職するも、腰痛で通った治療院の施術に感銘を受け、自らも柔道整復師の道へ。専門学校を経て資格取得後、治療院で経験を積み、2008年7月にいちの整骨院を開院した。今では1日の来院者が100名を超える院の院長として活躍中。



与える治療院ですね。

市之瀬 おかげさまで現在は、小さなお子さんから93歳になるご高齢の方まで、毎日100名前後の患者様が訪れます。近くの大学病院の医療従事者も多数来院くださり、同業種の方々にもご利用頂いているのも嬉しく思います。

痛みやストレスを軽減するために来院してくださるわけですから、その期待に応えるため、最新の治療設備も積極的に導入するようにしています。大切なのは、患者様の症状が快方に向かうことから、そのための努力は惜しみません。

秋川 東洋医学や西洋医学の違いなどにはこだわらず、患者さんを救うための手段を真っ先に考える柔軟な姿勢は素晴らしいと思います。では、スタッフ育成についてはいかがお考えですか。

市之瀬 治療スタッフ皆が経験者なので、私がとやかく言うことはなく、安心

して任せています。分からないことは自分で調べるように伝え、それでも分からないときだけ指導しています。すぐに教えてしまったら、各自の将来に繋がりませんからね。

秋川 と、いいますと？

市之瀬 私の願いは、今のスタッフ全員が独立開業して治療院を構えること。そして、その仲間たちとともに治療院のネットワークをつくることです。これは、今いるスタッフの願いでもあるのです。その実現に向け、これからも心を込めて施術を続けていきます。



Guest Comment

秋川 リサ (女優)

当日は実際に治療をして頂き、ありがとうございました。日頃の疲れや知らず知らず溜まっているストレスがいつべんに消え去ったような気がして、身も心も軽くなりましたよ。院長の温かな人柄に触れ、地域の皆さんが訪れる理由がよく分かりました。

